

砂防事業の概要

平成22年10月27日
中部地方整備局河川部

1. 砂防事業

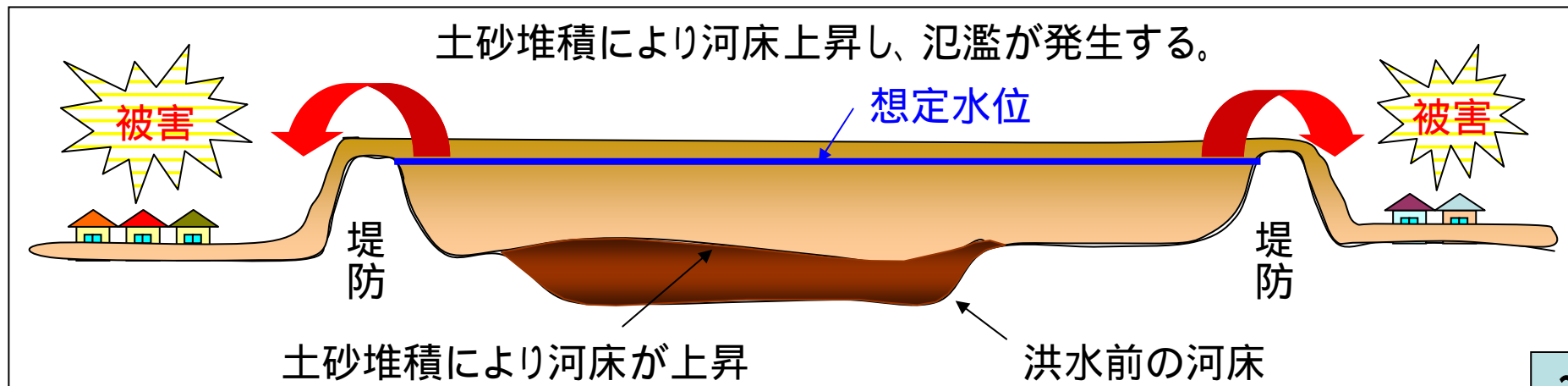
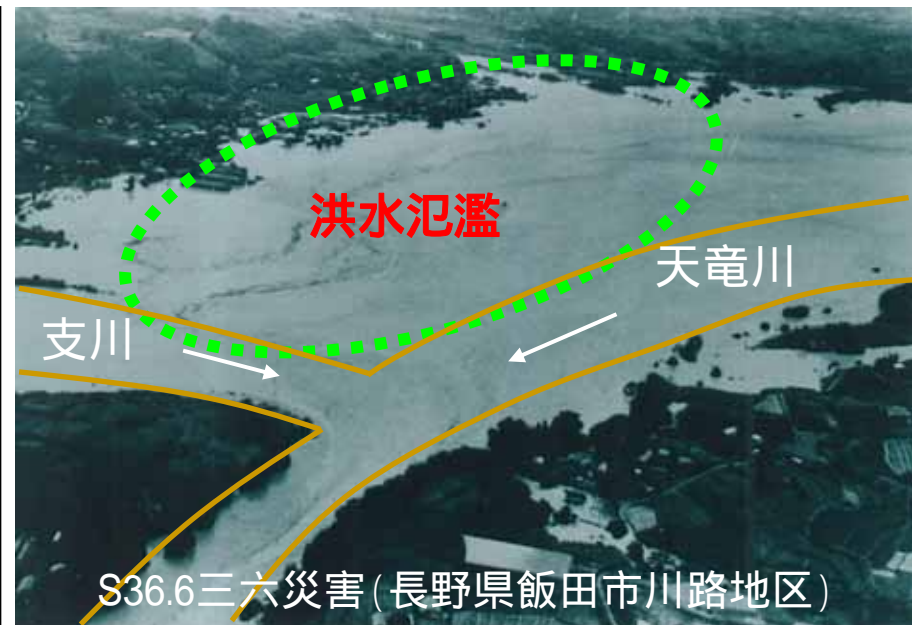
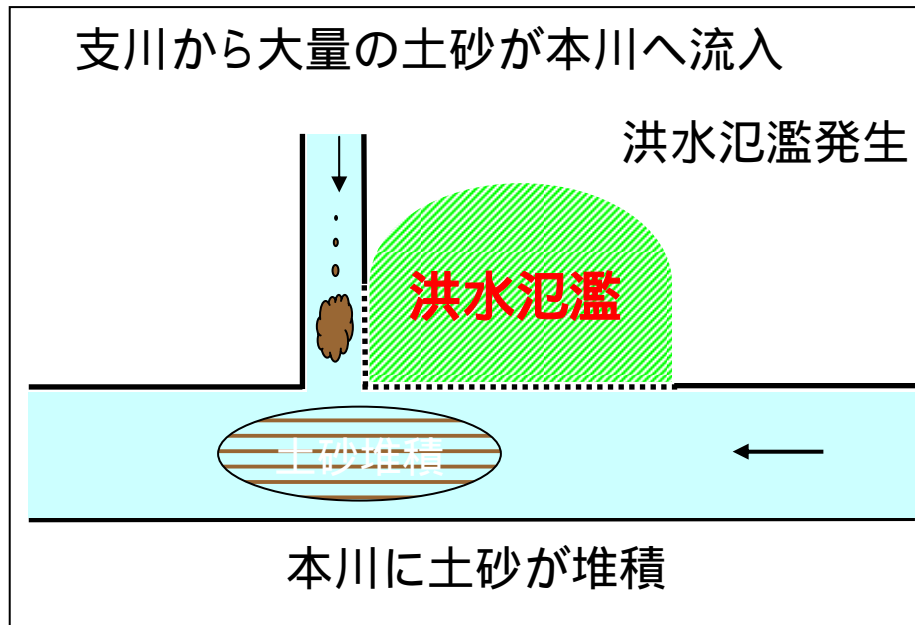
- (1) 砂防事業で対応する土砂災害
- (2) 主な砂防事業の事例

2. 主な変更点

- (1) 評価期間の考え方
- (2) 評価単位の考え方

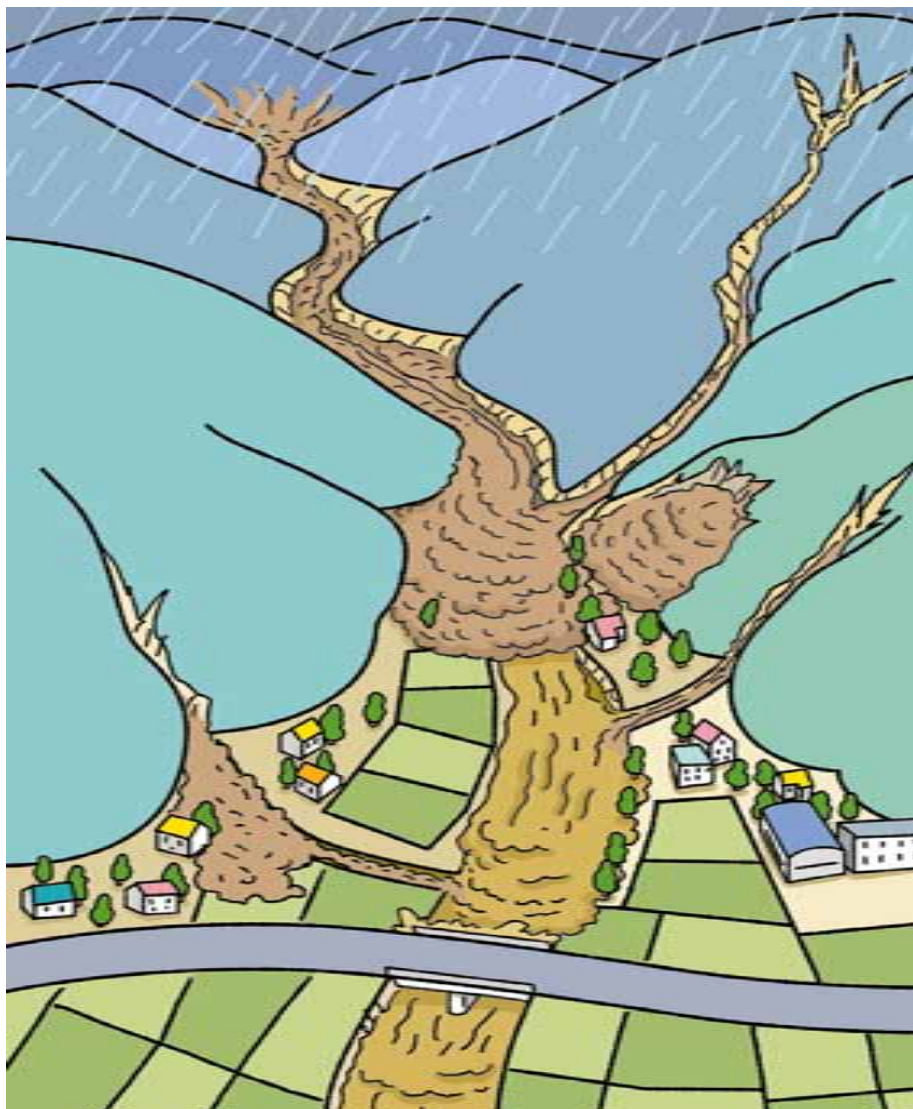
砂防事業で対応する土砂災害

上流域での崩壊地等から流出する土砂が、支川下流部や本川等に堆積し、洪水の流下阻害・氾濫することによる土砂災害から、下流域の人命・資産を守る。



砂防事業で対応する土砂災害

主に土石流に起因する土砂災害から、溪流直下に位置する人命・資産を守る。



H18.7梅雨前線による土石流災害



長野県岡谷市川岸東

主な砂防事業の事例

砂防堰堤

【透過型】



木曾川梨子沢第1砂防堰堤

【不透過型】



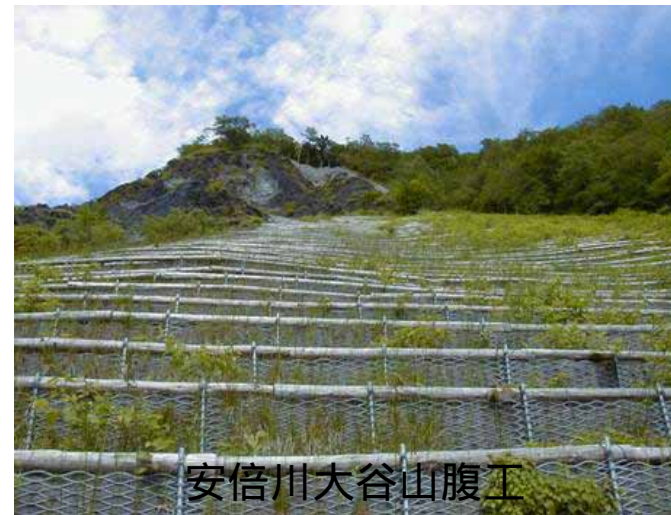
天竜川飯島第6砂防堰堤

床固工(群)



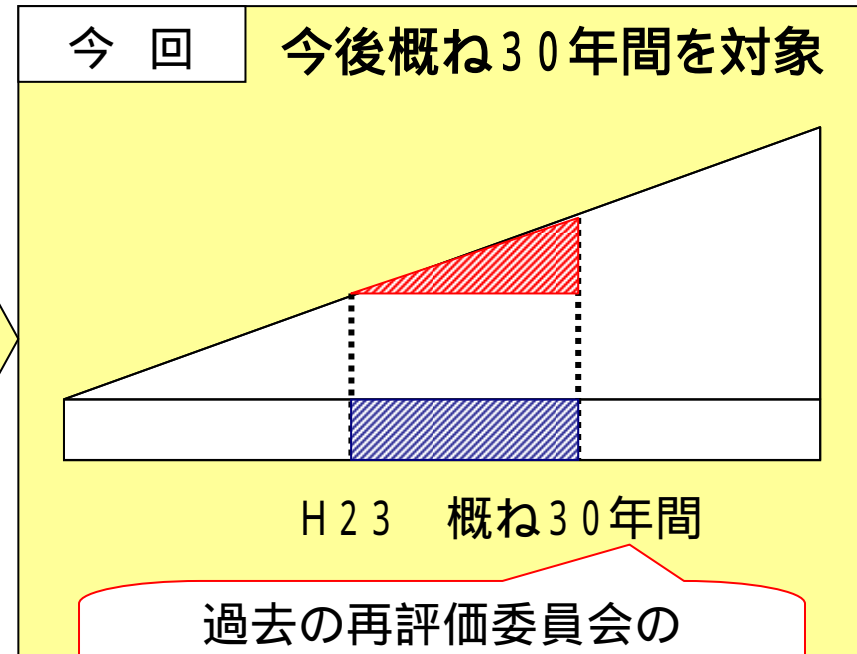
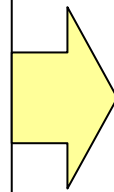
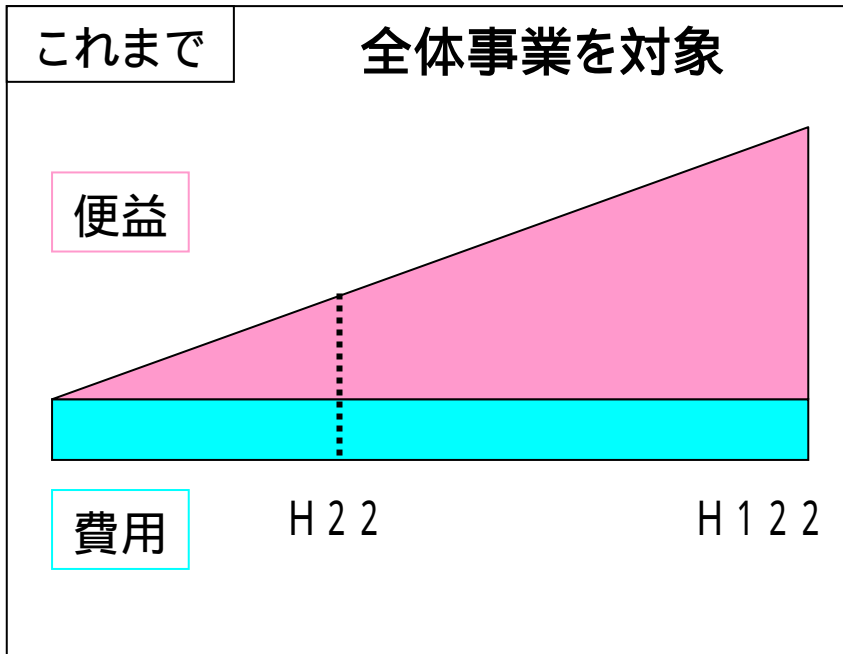
天竜川大河原床固工群

山腹工



安倍川大谷山腹工

評価期間の考え方



過去の再評価委員会の指摘を踏まえて、評価を改定。

これまで

- ・100年に一度程度までの豪雨時の洪水・土砂氾濫、土石流等による土砂災害を解消する。

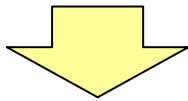
今回

- ・再度災害の防止、及び災害時要援護者施設、重要交通網等を保全する。
- ・概ね30年間の計画基準点における要整備土砂量等に対する砂防堰堤等整備を計画する。

評価単位の考え方

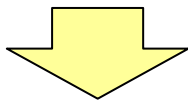
これまで

- 一部の水系において、ある程度の区域単位で再評価を実施。



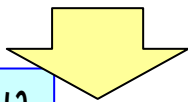
他地整 再評価委員会より指摘

- 予算単位での再評価を受けることが妥当。



砂防事業等の新規事業採択時
評価実施要領細目 (H22.4.1)

- 事業評価の単位は、水系、山系等の単位。



今回より

- 水系単位に統一して再評価を実施。

